

2006年4月9日 会報 第1号	田原本町から結崎へ ー太子道を歩くー	新・東大阪文化財を学ぶ会 会長 伊ヶ崎 淑彦
---------------------	-----------------------	---------------------------

日 時 2006年4月9日(日) 午前10時(雨天決行)
 集合場所 近鉄・田原本駅改札口附近
 参加費 500円(当日払い) 弁当持参
 講師 村本 敏男さん(元東大阪市立小学校校長、観光ボランティア)
 伊ヶ崎 淑彦、南 光弘(文化財を学ぶ会)

コース予定 約5キロメートル

田原本駅ー①津島神社ー②浄照寺・本聖寺ー③田原本陣屋跡ー西田原本駅(西田原本線)ー黒田駅ー④黒田大塚山古墳(昼食)ー⑤伴堂の杵築神社ー⑥杵築神社・白山神社(屏風)ー⑦島ノ山古墳・比売久波神社ー⑧面塚ー⑨糸井神社ー結崎駅

【コース案内、コメント】

①浄照寺と田原本

南都五大御坊の一つ。中世には教行寺が栄華を極めた興福寺の末寺として「衆徒・神人」を擁し(イ)年貢催促(ロ)下地作毛の点検(ハ)寺社領の統制などを、権力(藤原氏)をバックにしていた。記録には「田原本平城」と城があったことが記されている。

教行寺は、1647(正保4)年に箸尾(広陵町)に移転した。その50年前に「賤ヶ岳の七本槍」で知られている平野権平長泰が田原本など5千石の領地を与えられた。1808(慶応4)年まで続いた。

教行寺跡へ本誓寺と浄照寺が建ち寺内町を形成し平野氏によって次第に陣内町として変貌していった。とくに近世の初めまで「坊屋敷」「藪ノ内」といわれる環濠集落であった。

浄照寺は通称茶町にあって山号を「松慶山」真宗本願寺派。本尊は阿弥陀如来。田原本本坊といわれ領主平野権平の建立、文化文政年間(1804～1830)に現在の寺号に変わった。建物は、創建時(慶安年間1648～52)のもの。寺門は秀吉から拝領の伏見城の城門。寺宝に親鸞の自画像(元は大谷本廟にあったもの)がある。

②津島神社

通称祇園町にある。祭神はスサノホ、応神、タケミカヅチ、フツノヌシ、アメノコヤネ、比売大神で入封した平野権平が郷里尾張・津島神社を勧請した。感身院という神宮寺もあったが明治の神仏分離で廃された。7月7日からの祇園祭(3日間)は近在の人々が集まり見世物売店で賑わう。秋祭りが主体のヤマトで夏祭りとは…………。

③保津の環濠集落(参考)

「大和志」に保津村とある。1640(寛永7)年、十六面(じゅうろくせん)村の分離で半分になった村だった。保津遺跡は弥生前期から後期の集落遺跡で、土器、石鏃、石槍、硬玉の勾玉、出雲石の管玉が出土している。環濠遺跡は一部残されており、この地方の戦乱に対する暮らしの智慧が読み取ることができる。

④鏡作伊多神社(参考)

保津の南部にあって祭神はイシゴオリヒメ、式内社となっている。大字宮古に同名の神社がある。それは、平安時代に宮古が城下郡、保津が十市郡であったからだ。イシゴオリヒメは、金属加工の神、石を利用して鋳型をつくり、そこへ熔鉄を流して凝固する。鏡は日の神の依り代で、青銅器時代の神ともいう。

⑤黒田の大塚古墳(御霊山古墳)

古墳後期の前方後円墳、全長55メートル、後円部径28メートル高さ6メートル前方部巾23(高さ5)メートルで、遺物の出土は不明。〈昼食の予定地〉

近くに法楽寺あり勝軍地藏が本尊。真言宗御室派で寺伝によると聖徳太子の創建で1573(天正元)

年松永・筒井氏の合戦の兵火にかかり、現本堂は、その後の再建と記す。

⑥伴堂の杵築神社

三宅町の伴堂は、中世の頃から発達した南北にのびる街村で「トモンドウ」「トモドウ」と呼ばれていた。伴堂氏の拠地でもある。筒井氏方に属し、のち郡山藩の領地となる。この地の杵築神社は祭神はスサノオ。絵馬が有名で巾110センチ横192センチ「文政のおかげ踊り」は一大踊り集団を描く。他に2枚あり。屏風（聖徳太子が私宅から都へ通うので屏風をたてた。）の杵築神社も「おかげ参り」の絵馬あり、宝永2年の石灯籠に「観音寺鎮守」とあるのは宮寺の存在を読み取れる白山神社に聖徳太子の腰掛け石がある。伴堂には、水田地帯に高山瓢箪山古墳あり。

⑦面塚

宮前橋（寺川）の角に「観世流発祥之地記念碑」がある。観阿弥晴次が名張（小波田）から引っ越しし結崎座を組織した。晴次の叔父が所領を持っていたという。泰姓服部氏の末裔といわれている。春日若宮社を移した春日社の末社が結崎にあった関係で大和猿楽の楽頭職から発展したものともいわれている。

面塚とは、面と葱種が天から降ってきて、村人が面を埋めたというのは、観世流との関係で意味深長である。

⑧糸井神社

結崎郷の鎮守、祭神は「大和志料」によると豊鍬入姫、猿田彦、綾羽明神、呉羽明神で機織の技術集団の神としている。『姓氏録』に大和国諸蕃に「糸井造」があり、「糸井造」は三宅連と同祖で、アメノヒボコの後裔である。と記す。アメノヒボコは新羅国の王子でアカル姫を追って渡来した伝承を持っている。

それは冶金、鍛造文化を象徴し、出石の神宝に「出石小刀、出石鉾、胆狭浅（いささ）太刀」とあり、鉄文化の広がりを読み取れる。

なお、近世には、「春日社」と称し神宮寺（観音院）があった。10月22日が秋祭り、子ども相撲とお渡りや御飯屋祭りが有名である。

⑨比売久波神社

ヒメクハは、「姫・桑」を意味し神体としている。もとは「子守社」と言う式内社、南都の子守社（率川神社）の関係があるといわれている。本殿は春日大社の旧社殿（江戸初期）である。

なお、島の山古墳の石棺材がある。

⑩島の山古墳

盆地の中央部では、一番大きい。全長195メートルの前方後円墳。96年の調査で、前方部の30センチ下に埋葬施設と見られる遺構と石製腕飾り、4点が出土。さらに木棺を覆った粘土の上に車輪石、鋤形石、石訓（くしろ）など140点もあることから、呪術を司る指導的な女性墓といわれている。

また、腐食した木棺の内側に朱、武具・馬具なく、頭の位置に刀子（とうす）が置かれ、発掘されていない

後円部に男性の可能性を秘めている。被葬者は応神の後、糸井比売と田中卓（皇學館大）は言っている。

*本日は、田原本町桜祭りで田原本町役場付近（陣屋跡）が賑わっています。

桜祭り会場付近が混雑しておれば予定を変更することもあります。

なお、田原本町役場には、桃太郎伝説の碑があります。

２００６年度 行事予定

1. 4月 9日（日）田原本、太子道を歩く
2. 5月14日（日）シンポジウム「仏教公伝の真実を求めて」
シンポジスト 伊ヶ崎 淑彦（歴史研究家）
加藤 正彦（帝塚山学院大学）
いき 一郎（元沖縄大学、関西扶桑会）
場 所 東大阪市立社会教育センター（TEL06-6789-4100）
3. 6月11日（日）バスで名張を訪ねる
夏見廃寺、観阿弥創座の地、藤堂屋敷、百地三太夫屋敷など
4. 10月 8日（日）変貌する花園商店街から中央公園まで
西昌寺、吉田春日神社、塞の神など
5. 11月12日（日）日下ムラを歩く
井上家、川澄家、丹波神社、大龍禅寺など
6. 2月
歴史講演会（内容、講師未定）

連絡事項

- *年会費 ２０００円の納入をお願いします。
振り込み用紙、または直接、役員に手渡してください。